

# 経済統計 練習問題

## 第10回 労働に関する統計(2)

2010年11月1日

問 以下の文章を完成させよ。

年齢階級別失業率のデータを見ると、若年層の失業率が高い。しかし、若年層をとりまく就労環境には、失業率にあらわれない部分があり、さらに厳しいものであるといえよう。

1つはフリーターの問題である。労働力調査では \_\_\_\_\_ に分類される彼らの中には、正職員になりたい者も多くいる。このような状態を \_\_\_\_\_ という。

もう1つはニートの問題である。ニートは労働力調査では \_\_\_\_\_ に分類される。

この2つのグループを含めると、現在の就業状態に満足していない若年層は、実際の失業者以上に多いと考えられる。

賃金をとらえる統計として、その事業所に勤める労働者の給与総額から1人あたりの平均賃金を求める \_\_\_\_\_ がある。この統計調査の結果に賃金指数があるが、実質賃金指数とは \_\_\_\_\_ の変動の影響を考慮に入れたものである。

年齢、学歴、職種の違いなどを考慮に入れたデータは、 \_\_\_\_\_ によって得ることができる。この調査結果において、学校を出てからただちに就職し、同一企業にずっと勤務している者のことを \_\_\_\_\_ という。